

令和4年8月臨時会

令和4年8月3日

# 市長説明要旨



今臨時会におきましては、令和3年度男鹿みなど市民病院事業会計決算の認定など8件についてご審議をお願いするものでありますが、諸般の報告と提案理由の説明に先立ちまして、私の新型コロナウイルスへの感染について一言お詫び申し上げます。

既に市のホームページやマスメディアを通じて報告しておりますとおり、先月7月16日、発熱やのどに違和感があったことからPCR検査を受けたところ、コロナ陽性であることが確認されました。症状は数日で治まり、10日間の健康観察を経て、7月27日から登庁し、公務に復帰したところであります。

この間、市政運営に支障がないよう、電話やウェブを通じて職員と連絡を取り合い公務を行っておりましたが、感染防止対策を先導する立場にありながら、市民の皆様はじめ、多くの方々にご心配とご迷惑をおかけすることになり、誠に申し訳なく思っております。

今後は、一層健康に留意しながら、全力で市政運営に当たってまいりますので、議員の皆様には、引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。

次に、新型コロナウイルス感染症への対応についてであります。

6月は落ち着きを見せておりましたが、感染力の強いオミクロン株派生型「BA・5」への置き換わりが進んだことなどにより、7月中旬以降、本県でも感染者が急増し、7月26日には1日の新規感染者数が初めて千人を超えるなど、流行「第7波」が拡大してお

り、本市においても、学校や保育園を中心にクラスターが発生するなど、感染が広がりを見せております。

こうした状況を踏まえ、国では、ワクチンの4回目接種の対象に医療従事者や高齢者施設の従業員を加えたほか、3回目を受けていない若い世代の接種を促進する方針が示されました。

本市の3回目の接種率は、7月末現在、79.8パーセントと、全国平均、県平均を上回っていますが、若い世代の接種率が相対的に低いことから、7月23日から再開した集団接種において、高齢者の4回目接種を着実に進める一方、若い世代の接種率の底上げを図るため、3回目接種を個別医療機関だけでなく集団接種でも行うことといたしました。

また、5歳から11歳の小児については、夏休み中に接種するよう、小学生や園児の保護者向けに学校メールやアプリを利用して働きかけております。

今後は、重症化リスクの高い高齢者施設でのクラスターの発生防止に努めるとともに、感染拡大により、医療のひっ迫や社会機能の低下を招かないよう、市民の皆様には、積極的なワクチン接種と換気の励行、基本的な感染防止対策の徹底を改めてお願い申し上げます。

次に、全国洋上風力発電市町村連絡協議会の設立について申し上げます。

当全国協議会につきましては、私も発起人の一人として設立準備に当たってまいりましたが、今般、本市をはじめ、洋上風力発電事業の促進地域に指定されている8市町が、連携して調査研究や情報収集、要望・提言活動を行うことを目的に、7月28日設立総

会が開催され発足いたしました。

本市では、「船川港港湾ビジョン」に基づき、秋田県沖での洋上風力発電事業の進展を地域産業活性化の大きなチャンスと捉え、船川港の補完港としての活用、男鹿海洋高校と連携した人材育成、浮体式風車の建設拠点等を目指して取組を進めているところであります。

今後は、全国協議会の活動を通じて、こうしたビジョンに掲げる目標達成に一層力を入れるとともに、洋上風力発電事業の更なる推進に貢献してまいります。

次に、観光地の再生に向けた国の補助事業の採択について申し上げます。

北部地区への誘客促進が本市観光の課題の一つとなっている中、男鹿温泉郷及び男鹿北部地区の宿泊、観光事業者から、観光庁の補助事業である「観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」の活用について要望があったことから、地元金融機関等の協力のもと、市が取りまとめ役となって、観光庁の補助事業に申請していましたが、今般、全国 60 地区の一つとして、本県からは唯一、本市の提案が採択されました。

この事業は、参加する事業者が行う宿泊施設の改修や廃屋の撤去等に対して、各々 1 億円を上限に補助金が交付されるもので、本市では、男鹿温泉郷や西海岸の宿泊施設、男鹿真山伝承館等 6 事業者が参画し、それぞれ施設の改修や新設、廃屋の撤去等を計画しております。

市としましては、この事業実施を契機として、観光地の魅力向上に向けたハード面の整備を加速するとともに、アフターコロナ

を見据えて、個人旅行や教育旅行、さらにはインバウンド客に訴求できるソフト面の事業推進に一層力を入れ、誘客促進につなげてまいります。

次に、日本海メロンマラソンについて申し上げます。

第34回日本海メロンマラソンが、7月31日、県内外から2,433名の方々にエントリーいただき、3年ぶりに開催されました。

今回の開催に当たっては、参加者、スタッフの事前・事後の健康チェックはもちろん、密を回避するためネットタイムを活用した分散スタートの実施、飛沫予防のためメロンのふるまいの中止、ワクチン接種状況の確認や未接種者に対する陰性証明の提示など、新型コロナウイルス感染症対策の徹底に努めたところであります。

ランナーからは、開催に対する感謝や感染症対策への評価、スタッフ、ボランティアの心温まる対応について、多くの賞賛の声を頂戴いたしました。

ボランティアや協賛企業の皆様、地域の方々のご理解とご支援をいただき、成功裏に終えることができたことに対し、改めて心から御礼申し上げます。

大会を通じて、多くの方々から本市の魅力を感じていただき、リピーターとして本市を訪れ、また本市特産のメロンをご愛顧いただけるよう期待したいと思います。

次に、男鹿ナマハゲロックフェスティバルについてであります。

メロンマラソンと同様、こちらも3年ぶりに7月29日から3日間にわたって開催されました。

コロナ禍での開催ということで、私も連日会場に足を運び、感

染防止対策の実施状況を確認しつつ、関係者を激励してまいりました。

開催に至るまで、実行委員会の皆さんには様々な苦勞があったと思いますが、3日間で延べ約40組のアーティストが出演し、県内外から訪れた約1万2千人の来場者も大いに満足し、無事イベントを終了できたと伺っております。

男鹿の夏の風物詩として定着している当フェスは、開催を通じて、若い世代を中心に関係人口の拡大等に大いに寄与しており、来年度以降も、引き続き側面から支援してまいりたいと思います。

次に、提案理由の説明を申し上げます。

議案第51号は、令和3年度男鹿みなど市民病院事業会計決算の認定を求めるもので、当年度は7,432万円の黒字となりました。

議案第52号から第56号までは、令和3年度男鹿市企業局各事業会計決算の認定を求めるもので、上水道事業会計においては2,351万円の赤字、ガス事業会計においては2,237万円の赤字、下水道事業会計においては4,879万円の黒字、農業集落排水事業会計においては3,175万円の黒字、漁業集落排水事業会計においては947万円の黒字となりました。

次に、報告であります。

報告第7号は、令和3年度に放棄した診療費に係る債権について報告するものであります。

報告第8号は、令和3年度に放棄した水道料金等に係る債権について報告するものであります。

以上、提案理由について説明申し上げました。よろしく御審議の上、認定いただきますようお願い申し上げます。